

久留米市ホームページ
久留米市市民文化部文化財保護課まで
電話 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714
文化財・歴史

時代	西暦	上津校区のできごと	日本のできごと
旧石器時代	20000 年前	高良台などが狩場として利用される。	狩猟採集生活を営む。
縄文時代	5000 年前		
弥生時代	紀元前 400 年頃	井原遺跡に土器が出土する。	稲作伝来
弥生時代	紀元後 300 年頃	古賀前遺跡に高床建物が建つ。	邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る。
古墳時代	400 年頃	釜口遺跡に円形周溝墓が出土する。	大和王権の成立
古墳時代	500 年頃	上津子遺跡に竪穴住居が建つ。	古墳が全国でつくられる。
古墳時代	500 年頃	甲塚古墳や浦山古墳が出土する。	磐井の乱 (527 年)
古墳時代	600 年頃	本山古墳が出土する。	仏教伝来 (538 年)
飛鳥時代	600 年頃	平野遺跡の豪族居館が建設される。	白村江の戦い (663 年)
飛鳥時代	700 年頃	極楽寺古墳群が出土する。	西海道がつけられる。
奈良時代	700 年頃	日本書紀に「藤山」の地名がみえる。	平城京遷都 (710 年)
平安時代	1000 年頃	御井部が建てられる。	平安京遷都 (794 年)
平安時代	1000 年頃	文獻に「豊比咩神社」の名がみえる。	源平合戦
鎌倉時代	1200 年頃	薩摩街道 (坊ノ津街道) が使われ始める。	日買貿易
室町時代	1400 年頃	文獻に「上津荒木氏」の名がみえる。	南北朝の争い
戦国時代	1600 年頃	藤田浦の高良山領が没収されて藤田浦村ができる。藤山村が公認される。	秀吉の九州攻め (1587 年)
江戸時代	1700 年頃	久留米藩主有馬頼元が東林寺を建立する。	

上津校区の歴史年表

上津校区の歴史

上津校区の歴史は古く、高良台や上津・藤光ニュータウンからは、約 2 万年前の石器が発見され、当時この地域が狩場として利用されていたことがわかっています。また、筑後地区を南北に移動する際の交通の要衝であり、今でも国道 3 号や国道 209 号、高速道路などが通っています。古墳時代に多くの古墳がこの地域に築かれたのは、このような交通の要衝をおさえることが、政治・経済上、きわめて重要であったためでしょう。現在の二軒茶屋交差点付近は、東西の丘にはさまれた関所のような地形をしており、古墳時代には八女方面から藤山を経由する道路が通っていました。その両側の丘の上に浦山古墳や、本山古墳などの大型の古墳がつけられ、道行く人々を見下ろしていました。693 年に日本が朝鮮半島で起こした白村江の戦いの前後に、大宰府への南からの侵入を防ぐために藤山道を塞ぐ土塁がつけられました。「上津土塁」と呼んでいるこの土塁は、上津町共同納骨堂の築山として、その一部が現在も残っています。

古代から中世にかけて高良山との関係が非常に深いこともこの地区の特徴です。本山天満宮の後ろにある豊姫神社は、高良玉垂命の妻という伝説もある、豊玉姫を祀っており、筑後国のなかで高良大社に次いで有名な神社であったようです。平成 12 年から復活した、本山天満宮から高良山に松の若木を奉納する「子の日の松」のお祭も、古代からの高良山との関係の深さを物語っています。

江戸時代にあった上津荒木村と藤田浦村、光勝寺村、藤山村が明治時代に合併して上津荒木村となり、さらに昭和 26 年に久留米市と合併し、現在の上津町となりました。

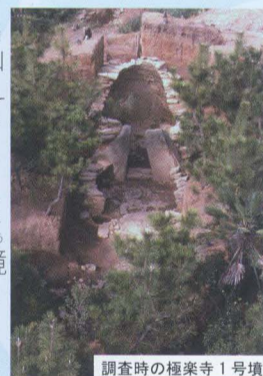
A. 浦山古墳 (国指定史跡)

5 世紀後半に造られた現存 60m の帆立貝式前方後円墳で、内部に家形石棺が納められています。石棺は精巧なつくりをしており、内面は赤く塗られ、直弧文と呼ばれる文様が彫られています。直弧文が施された横口式家形石棺は、筑紫君一族の墓といわれる筑後市の石人山古墳と共通しています。成田山の境内の横にあり、寺の受付で鍵を借りて石室を見学することができます。



B. 極楽寺古墳群 (市指定史跡)

数基の円墳で構成される 6 世紀後半頃に造られた古墳群で、現在は 2 基が残っています。昭和 47 年、本山団地造成に伴って発掘調査が実施され、ガラス玉や耳環、変形文鏡などが出土しています。



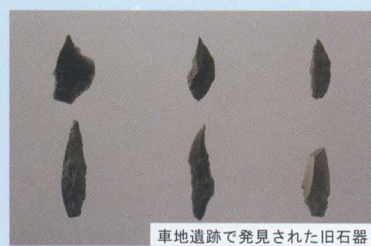
C. 極楽寺の六地藏菩薩画像板碑 (市指定有形文化財)

板状の自然石の表面に六体のお地蔵さんを線で表現してあり、室町時代末の作と考えられています。



① 車地遺跡

旧石器時代の石器から近世の陶磁器まで、様々な時代に使われた道具や、生活の痕跡がみついています。中でも旧石器時代の石器は様々な種類がみつかり、この地域で狩りが行われていたことを示しています。



⑥ 笹井原遺跡

上津・藤光ニュータウン建設にともなって発掘調査された遺跡です。弥生時代前期末頃の一大集落跡では、丸い形の竪穴住居や、石包丁、土器などが発見されました。また、平安時代の井戸からは、多量の土器が出土しています。



② 古賀前遺跡

弥生時代のドングリを貯蔵していた穴や、奈良時代の官道、中世の有力者の屋敷と考えられる建物や井戸、区画溝などがみつかりました。



表紙写真：浦山古墳石棺内の装飾